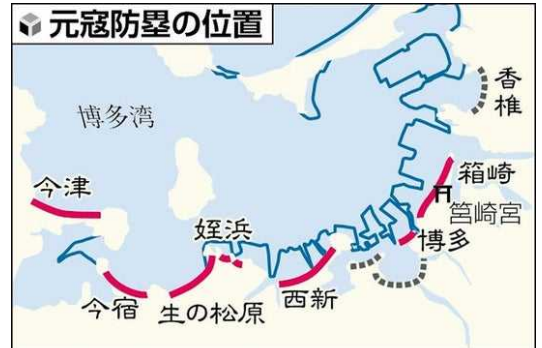


室見川ランニングクラブ 歴史巡りマラニック 2026

～走って、拜んで、運氣も上昇！パワースポットを巡る大人の遠足～

- 開催日：令和8年5月17日(日)
- 集合時間：8:00
- 集合場所：ヒナタの杜 小戸の湯どころ
(福岡市西区小戸2丁目1-87)
- 総距離：約25km(ゆったりペース)
- ゴール：ヒナタの杜 12:00頃到着予定



● 見どころ満載！コースガイド

- 【元寇防塁】難局を乗り越えた先人の知恵と歴史を肌で感じるパワースポット！
- 【今津の大岩】国の天然記念物、巨石のパワーを浴びて！
- 【八大龍王神】海の守護神、運氣上昇の神様に開運祈願！
- 【毘沙門堂】階段を登った先にある、知る人ぞ知る絶景ポイント！
- 【池いちご園】あまおう・マンゴーを超える究極の甘さに感動！
- 【ヒナタの杜】最後は天然温泉で汗を流してフィニッシュ！

● 持ち物・準備

- 【服装】ランニングできる服装、シューズ。
- 【リュック】手荷物預かりがないため、背負えるもの。
- 【水分・補給食】途中コンビニ休憩あり。
- 【温泉セット】タオル・着替え(ヒナタの杜で入浴される方)
- 【費用】飲食代、入浴料(1,250円)。
- 【クラブ補助】クラブ行事として1,000円を補助。



姪浜・今宿マラニック 雑学ガイド

①長垂の奇跡:1億年の歴史と景観を守る人々の物語

【国の天然記念物「長垂の含紅雲母ペグマタイト岩脈」】

長垂公園の周辺に露出している白い巨石は、約1億年前に地下深くのマグマが地殻の割れ目に貫入し、ゆっくりと冷え固まってできた「ペグマタイト」という火成岩の一種です。この岩石の最大の特徴は、リチウムを含む「紅雲母(リチア雲母)」という非常に珍しい鉱物を含んでいる点にあります。江戸時代には、その結晶がキラキラと輝く様子から「キララ」と呼ばれ、地域の人々に親しまれてきました。

大正時代になると、この場所が日本でも有数のリチウム鉱物の産地であることが学術的に証明され、1928年に国の天然記念物に指定されました。しかし、第二次世界大戦中、リチウムが軍需物資として重要視されたため、国策により大規模な採掘が行われ、多くの紅雲母が失われてしまいました。現在、道路脇や海岸に残っている巨石は、その激動の歴史を乗り越え、破壊を免れた貴重な残存部分です。現在は厳重に保護されており、岩石の採取は一切禁止されています。

【ヒッコリーオーナーと長垂の土地にまつわるいきさつ】

長垂海岸に佇む「HICKORY Sea Side cafe(ヒッコリー)」のオーナー一族は、古くからこの長垂周辺一帯の広大な土地を所有してきた、地元でも名高い地主さんです。現在、私たちがマラニックで楽しんでいるあの美しい海岸線の景観は、実はこのオーナー一族が代々にわたって守り続けてきた私有地という側面を持っています。

このエリアは福岡市内でも有数の絶景スポットであるため、過去にはリゾート開発や大規模なマンション建設の打診も多々あったと言われています。しかし、オーナーは「この美しい海と松林の風景を壊したくない」という強い思いから、それらの誘惑を断り続けてきました。1980年代、今ほどカフェ文化が浸透していなかった時代にヒッコリーをオープンさせたのも、この素晴らしい景色を多くの人に楽しんでもらいたいという願いがあったからです。

道路脇に天然記念物の巨石が今も自然な形で残っているのも、土地の所有者が開発よりも景観の保存を優先してきたからこそ。あのおしゃれなカフェは、地域の歴史と自然を守る「防波堤」のような役割も果たしているのです。

②元寇防塁(姪浜～生の松原～長浜)

【700年前の鉄壁の守り】

鎌倉時代の元寇(蒙古襲来)に備え、博多湾の海岸線約20kmにわたって築かれた石垣の防衛線です。姪浜、生の松原、今津と、今回のコースのいたる所でその遺構を目にすることができます。圧倒的なスケールの石積みは、当時の人々の知恵と「国を守る」という強い意志の象徴です。

【元寇防塁と松林の驚きの関係】

「生の松原(いきのまつばら)」にある元寇防塁と松林には、深い歴史的エピソードがあります。「生」の名の由来:神功皇后が新羅遠征の際、松の枝を逆さに植え「願いが叶うなら生きよ」と祈ったところ、その松が根付いたことから「生の松原」と呼ばれるように。

この松林は江戸時代、福岡藩によって「防風林・防砂林」として大切に植林・保護されたもので、鎌倉時代の「石の壁」、江戸時代の「緑の壁」の二層の守りの歴史があります。

③今津八代龍王神

【海に突き出す神秘のパワースポット】

今津の海岸、波打ち際に鎮座する「八大龍王神」は、知る人ぞ知る強力なパワースポットです。海の守護神であり、雨乞いや航海安全、そして「運氣上昇」の神様として古くから信仰されてきました。青い海を背景に立つ鳥居の美しさは息を呑むほどで、まさに「拜んで、運氣が上がる」を象徴する場所です。

④毘沙門堂(毘沙門山)

【階段の先にある、玄界灘のパノラマ】

今回のコースで最も「拜む」甲斐があるのが、毘沙門山の山腹にある毘沙門堂です。長い階段を一段ずつ登るプロセスは、まさに自分自身の運氣を高めるステップ。息を切らして辿り着いた先には、眼下に広がる今津湾や能古島、そして果てしなく続く玄界灘の大パノラマが待っています。

⑤池いちご園

【究極の甘さと感動をあなたに】

今津運動公園の目の前には、福岡でも屈指の人気を誇る「池いちご園」があります。糖度20度の衝撃:いちご(品種:かおりの)は、特殊な栽培法により糖度が16～20度に達します。一般にメロンが15～16度、あまおうで13度、マンゴーで19度と言われているので、究極の甘さに感動すること間違いなしです。

デパートに卸さない幻の味:最高の状態で食べてほしいという店主のこだわりから、一切市場に出回らず、ここでしか食べられない「幻のいちご」です。